

千葉市立病院改革プラン（案）の概要

（第6期：令和8～10年度）

千葉市病院局

1. 策定の趣旨
2. 現状と課題
3. 第6期プランにおける取組み
4. 第6期プランの収支目標
5. 新病院の整備

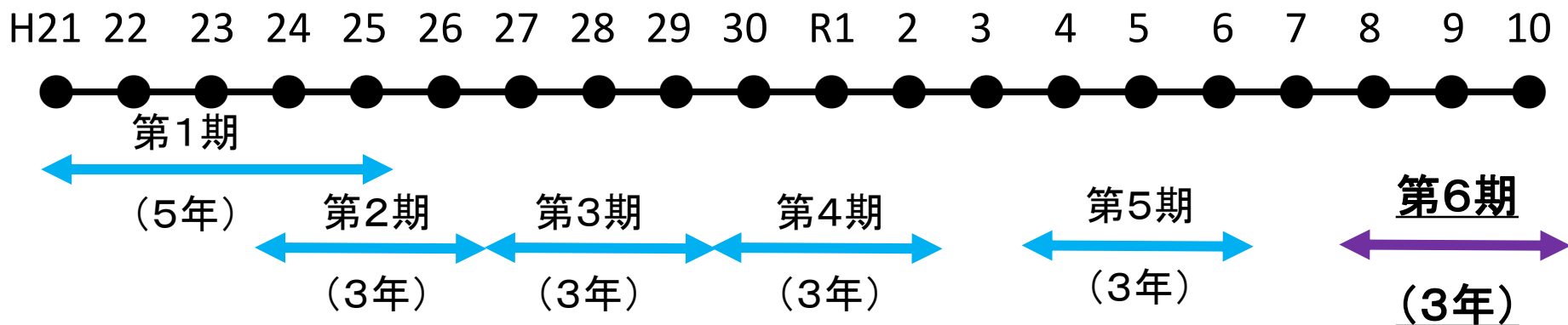
趣旨

- 千葉市立病院改革プラン(第6期)(以下「第6期プラン」という。)は、「公立病院経営強化ガイドライン」を受けて、市立病院が、今後も地域において必要な医療提供体制を確保するとともに、経営の効率化を図り、持続的な病院経営を目指すための指針を示すもの。
- 第6期プランを指針として、市立病院の果たすべき役割を実現するため、病院経営の改革に職員一丸となって取り組んで参ります。

計画期間

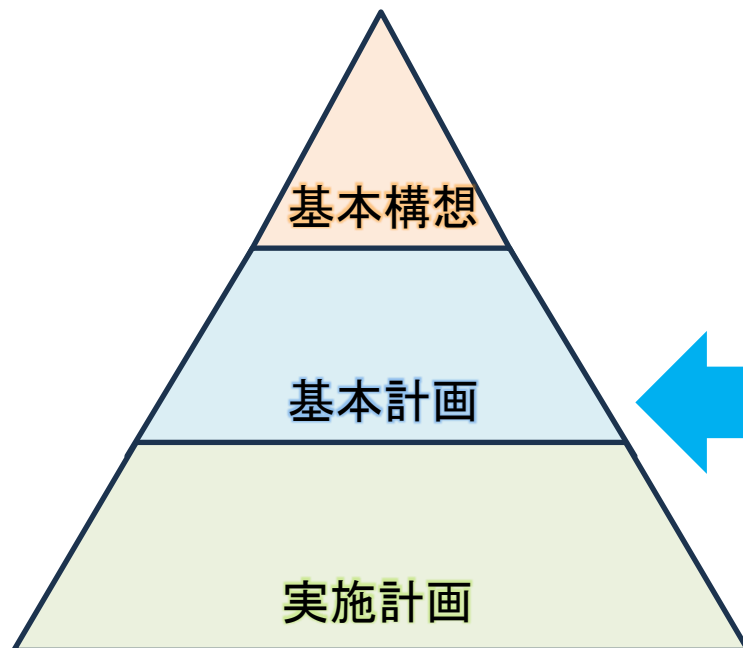
- 令和8年度～令和10年度

《千葉市立病院改革プランの推移》



プランの 位置づけ

千葉市総合計画



千葉県
地域医療構想

公立病院
経営強化
ガイドライン

連携

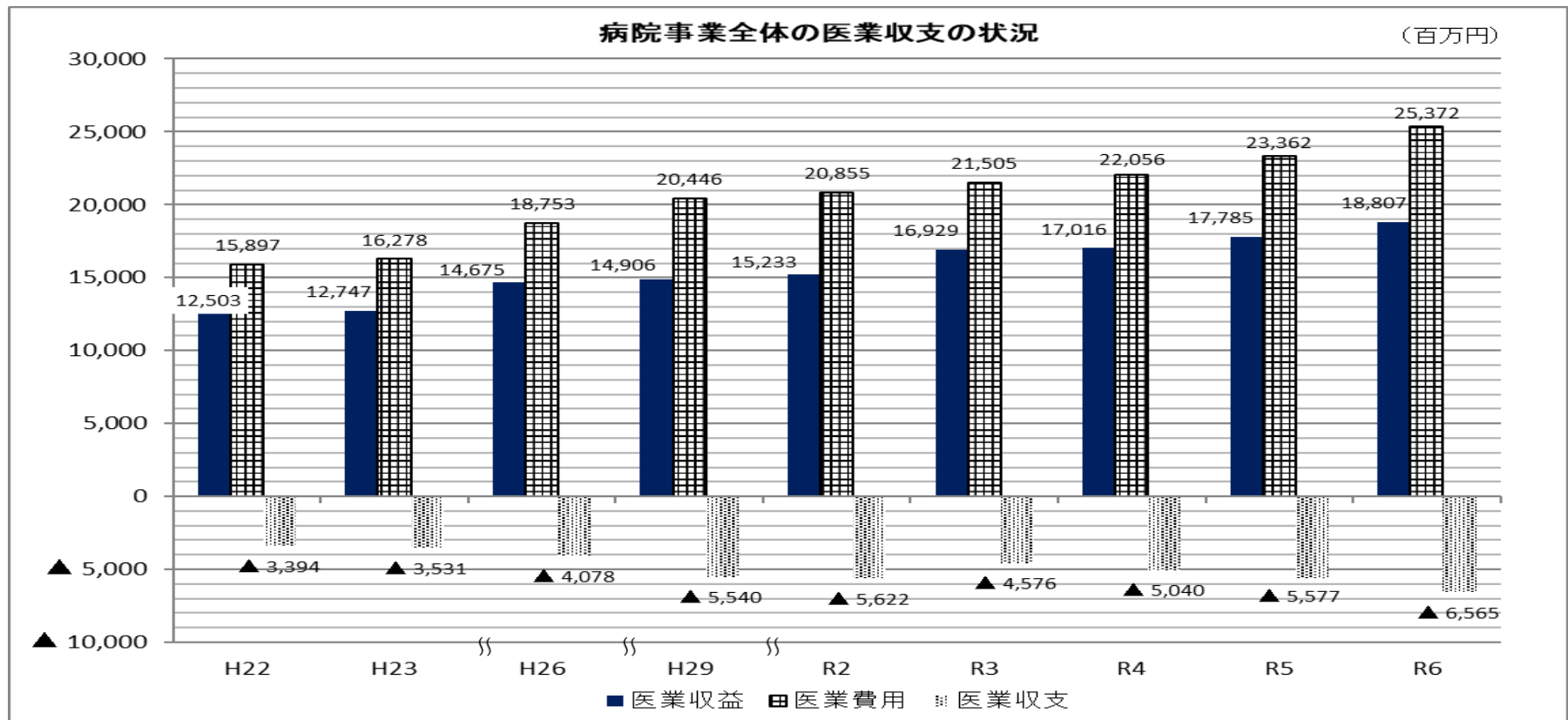
千葉市立病院
改革プラン

第6期プラン のポイント

- 新病院の開院にあわせた診療体制を強化します。
- 一般病床稼働率について、青葉病院96%、海浜病院90%を目指します。
- 新病院の本格稼働後は、全職種において増員しないことを基本とします。
- 中長期的に経常収支の黒字化を目指します。

医業収支の推移

- H23年度の地方公営企業法全部適用移行後、人的投資、設備投資に応じた医業収益が確保できず、総じて収支が悪化し続けたが、R3年度は医業収支が改善。
- R4年度からは、職員増や給与改定等に伴う給与費の増、物価や労務単価の高騰による材料費、光熱水費、経費の増に加え、診療報酬が物価・労務単価の高騰に見合っていないことなどにより医業収支が再び悪化。



第5期プランの評価(経常収支・医業収支の状況)

- ・ 医業収支について、R4～6年度ともプランで掲げた計画値を未達成
- ・ 経常収支について、R4年度はコロナ補助金により計画値を達成。R5～6年度は未達成。

病院事業会計全体

(単位：百万円、税込)

年度	R3	プラン（第5期）									達成状況
		R4			R5			R6			
		実績	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	実績	
医業収益	16,929	17,176	17,016	▲ 160	17,374	17,785	411	17,578	18,807	1,229	○
入院収益	12,159	12,478	12,215	▲ 263	12,676	12,763	87	12,880	13,584	704	○
外来収益	4,443	4,389	4,519	130	4,389	4,756	367	4,389	4,942	553	○
医業費用	21,505	21,572	22,056	484	22,154	23,362	1,208	22,380	25,372	2,992	×
職員給与費	11,296	11,339	11,644	305	11,449	12,065	616	11,562	13,717	2,155	×
材料費	4,758	4,697	4,646	▲ 51	4,764	5,190	426	4,832	5,473	641	×
経費	4,263	4,352	4,595	243	4,240	4,553	313	4,284	4,644	360	×
減価償却費	1,126	1,099	1,102	3	1,616	1,486	▲ 130	1,617	1,468	▲ 149	○
医業収支	▲ 4,576	▲ 4,396	▲ 5,040	▲ 644	▲ 4,780	▲ 5,577	▲ 797	▲ 4,802	▲ 6,565	▲ 1,763	×
医業外収益	7,801	5,278	7,312	2,034	5,551	5,441	▲ 110	5,639	5,665	26	○
一般会計繰入金	3,822	4,010	4,127	117	4,151	3,605	▲ 546	4,177	4,216	39	—
医業外費用	442	505	459	▲ 46	586	448	▲ 138	488	232	▲ 256	○
経常収支	2,783	377	1,813	1,436	185	▲ 584	▲ 769	349	▲ 1,132	▲ 1,481	×
特別利益	149	184	25	▲ 159	4	63	59	4	29	25	○
特別損失	183	154	205	51	154	135	▲ 19	154	156	2	×
純損益	2,749	407	1,633	1,226	35	▲ 656	▲ 691	199	▲ 1,259	▲ 1,458	×
医業収支比率	78.7%	79.6%	77.1%	▲ 2.5%	78.4%	76.1%	▲ 2.3%	78.5%	74.1%	▲ 4.4%	×
経常収支比率	112.7%	101.7%	108.1%	6.4%	100.8%	97.5%	▲ 3.3%	101.5%	95.6%	▲ 5.9%	×
累積欠損金（税抜）	▲ 4,706		▲ 3,077			▲ 3,719			▲ 4,991		
内部留保資金残高 （当年度末補てん財源）	3,397		4,813			3,942			2,111		

6

第5期プランの評価(主要指標の状況)

- 新規入院患者数、入院診療単価、外来診療単価、外来患者数は計画値を達成。
- 医業収益は計画値を達成するも、給与費対医業収益比率が大幅に悪化。

<収益確保に関するもの>

開業医訪問や救急搬送の積極的受入れなどにより新規入院患者は増加。平均在院日数が短縮したことなどにより病床稼働率は未達。新たな施設基準の取得や手術数増加などにより診療単価は向上。

年度	R3	プラン（第5期）									達成状況
		R4			R5			R6			
	実績	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	実績	差	
入院患者数	170,733人	179,235人	160,597人	▲ 18,638人	180,687人	169,618人	▲ 11,069人	182,186人	181,331人	▲ 855人	×
病床稼働率（全体）	70.7%	74.2%	69.4%	▲ 4.8%	74.8%	73.1%	▲ 1.7%	75.2%	75.0%	▲ 0.2%	×
新規入院患者数	14,891人	15,600人	14,391人	▲ 1,209人	15,700人	15,287人	▲ 413人	15,800人	16,367人	567人	○
入院診療単価	71,215円	69,617円	76,062円	6,445円	70,153円	75,245円	5,092円	70,696円	74,913円	4,217円	○
平均在院日数	10.5日	10.5日	10.2日	▲ 0.3日	10.5日	10.2日	▲ 0.3日	10.5日	10.2日	▲ 0.3日	○
外来患者数	317,672人	313,500人	317,460人	3,960人	313,500人	309,952人	▲ 3,548人	313,500人	313,846人	346人	○
外来診療単価	13,988円	14,000円	14,233円	233円	14,000円	15,344円	1,344円	14,000円	15,748円	1,748円	○
救急搬送件数	8,299件	8,700件	9,983件	1,283件	8,700件	11,094件	2,394件	8,700件	11,294件	2,594件	○
手術件数	5,233件	5,200件	5,463件	263件	5,300件	5,804件	504件	5,400件	6,124件	724件	○

<費用削減に関するもの>

人的投資に対する収益確保が不十分となり給与費比率が悪化。委託の契約内容の見直し等を継続したが、物価高騰の影響などにより材料費比率や経費比率も未達となった。

年度	R3	プラン（第5期）									達成状況
		R4			R5			R6			
	実績	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	実績	差	
職員給与費対医業収益比率	66.7%	66.0%	68.4%	2.4%	65.9%	67.8%	1.9%	65.8%	72.9%	7.2%	×
材料費対医業収益比率	28.1%	27.3%	27.3%	0.0%	27.4%	29.2%	1.8%	27.5%	29.1%	1.6%	×
経費対医業収益比率	25.2%	25.3%	27.0%	1.7%	24.4%	25.6%	1.2%	24.4%	24.7%	0.3%	×

※表示単位未満で四捨五入しているため、計画と実績の差が一致しないことがある。

経営の健全化

- 純損益は令和5年度決算から2年連続で赤字に転じました。累積欠損金は50億円であり、この解消のため医業収支の改善による経常収支の黒字化を目指していきますが、短期的な黒字化は困難なことから、当面の間は経常収支の赤字縮小に取り組むことが求められます。

資金収支不足の解消

- 診療体制を強化するために積極的な投資をしてきましたが、投資に見合うだけの収益をあげることができていないため、収支が悪化し、運転資金が不足するなど資金繰りは非常に厳しい状況です。
- 新病院に伴う建設費の支出が続くことから、市からの一時借入金で対応しながら、収支改善に向けた取組みを継続する必要があります。

医師の働き方改革の推進

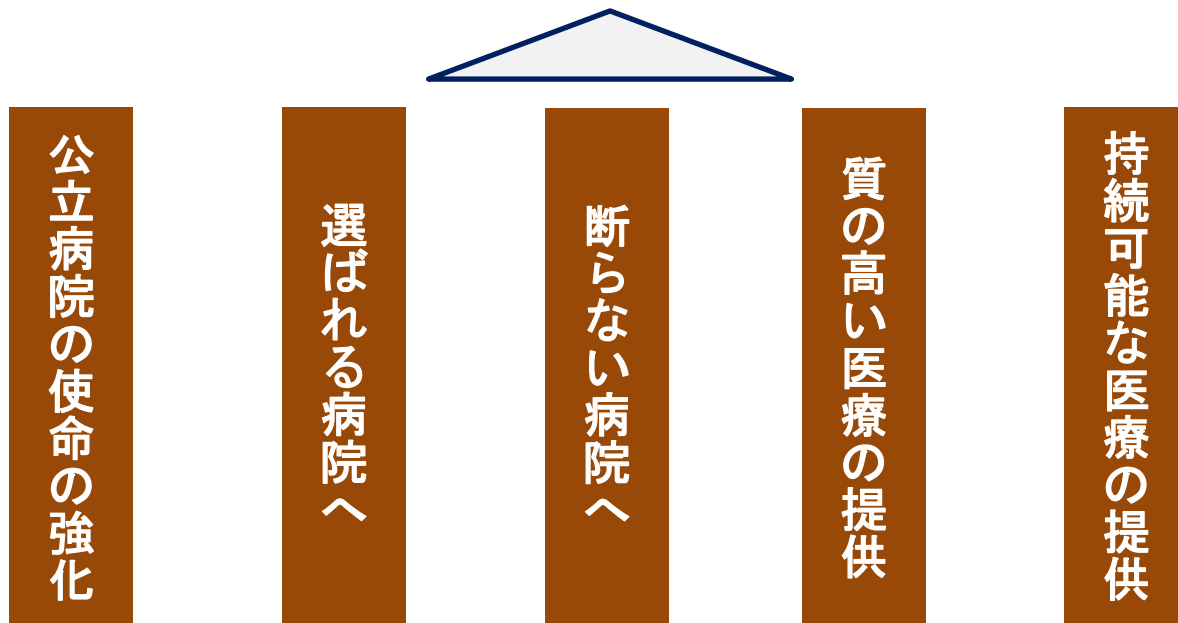
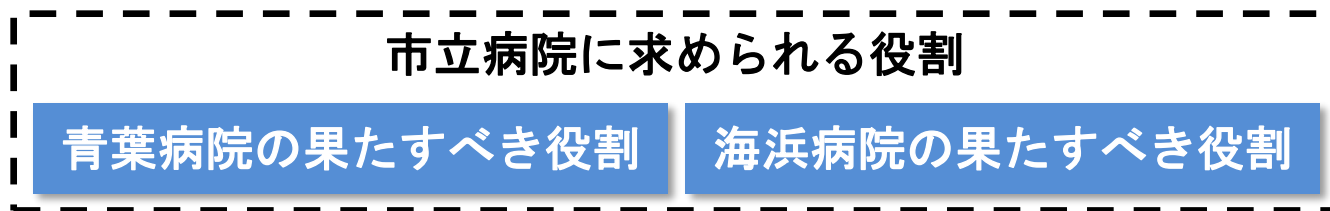
- 令和6年4月から医師への時間外労働上限規制が適用されたことから、両市立病院においても、長時間労働の医師の労働時間短縮及び健康確保のためのタスクシェア・タスクシフト等の措置を整備し、適切に運用することが課題となります。

新病院の開院準備

- 新病院は、令和8年秋の開院を予定しており、地域の中核的病院として総合的な医療を提供する体制整備を進めています。
- 海浜病院が保有する医療機器等のうち、引き続き使用可能なものについては新病院への移動を行う予定であり、機器の選定や引っ越し作業のスケジュール調整により円滑な対応に努めます。

市立病院に求められる総合力の強化を図るため、「青葉病院の果たすべき役割」と「海浜病院の果たすべき役割」を定めるとともに、その役割を果たすため、取組みの5つの柱と収支目標を定めました。

第6期病院改革プラン



5つの柱

収支目標

青葉病院は、これまでの機能を発展的に継続します。

内科診療

総合内科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科等の専門的治療の提供と各領域間の連携

救急医療

他病院では対応が困難な夜間の受入に積極的に対応するなど、市の二次救急医療に貢献

災害医療

地域災害拠点病院として、災害時の患者の積極的な受入れ

整形外科・ 泌尿器科・外科

高齢化に伴い増加する整形外科・泌尿器科・外科疾患への対応

精神医療

1. 児童思春期に固有の精神障害に対して基幹病院としての機能を発揮
2. 他病院で対応困難な精神疾患、身体疾患合併例の積極的受入れ

感染症医療

第二種感染症指定医療機関として新興感染症等患者の受入体制の維持

海浜病院の果たすべき役割

海浜病院は、新病院の開院に合わせて、医療提供体制の強化・深化を図ります。

救急医療の充実

- ・診療体制の充実、後方診療科および病病/病診との連携整備、トリアージ等のシステムの充実、病院救急車の活用、集中治療の強化等によるER型救急医療※の深化
- ・救急科基幹施設、集中治療科基幹施設としての診療体制の充実

高齢者医療の強化

- ・地域住民に求められる総合診療の整備（呼吸器科、整形外科の充実、脳卒中診療の拡大など）
- ・がん診療に必要な外科系診療科の整備や放射線診断、放射線治療の充実
- ・内科、外科基幹施設としての診療体制の充実

※ 内因、外因を含めた、救急車搬送や直接の来院における救急対応をいいます。

周産期医療の深化

- ・周産期医療は千葉県を代表する立ち位置にあり、高リスク妊産婦や超低出生体重児の県内の拠点として深化
- ・引き続き周産期医療の人材育成に努める
- ・新生児外科系疾患治療の強化

小児医療の深化

- ・小児ER型救急医療の深化と発展
- ・ER型救急の受け皿となる小児集中治療提供体制の整備
- ・周辺二次医療圏の患者の受入れ
- ・小児医療と周産期医療の連携強化

移行期医療への対応

- ・胎児期から小児期・老年期までの生涯にわたり絶え間ない医療の提供を、様々な診療科や地域施設と連携して進めていく。

市立病院の果たすべき役割を実現するために「公立病院の使命の強化」「選ばれる病院へ」「断らない病院へ」「質の高い医療の提供」「持続可能な医療の提供」の5つの柱を掲げ、取り組むこととします。

公立病院の使命の強化

項目		内容
①	政策的医療の提供	公立病院として、引き続き民間病院では提供が難しい分野（小児・周産期医療、精神医療等）の医療体制を維持・強化し、地域の幅広い医療ニーズに応えていきます。
②	地域災害拠点病院としての体制強化	災害時に必要な医療を十分かつ適切に提供するため、災害医療体制の充実を図ります。今後も地域災害拠点病院として市内外の様々な災害に対して医療チームを派遣するとともに、災害時の患者の積極的な受け入れを行います。
③	新興感染症に備えた体制整備	新興感染症に向けた体制整備を行い、発生時には両市立病院の役割に応じた患者の受け入れを積極的に行います。
④	地域に必要とされる医療体制の整備	血液内科、皮膚科、耳鼻科のように、千葉市内で入院施設が限られる診療科の体制を整備します。新病院では呼吸器外科や歯科口腔外科を新設するなど、引き続き地域に必要とされる医療を提供します。 NEW

選ばれる病院へ

項目			内容
市民（患者）から選ばれる病院へ	⑤	患者満足度の向上	質の高い患者サービスの提供を図り、患者満足度を向上させて多くの患者に選ばれる病院を目指します。
	⑥	広報活動の強化	市民の関心のある医療や市立病院の特色ある医療について、市民公開講座等を通して発信し、市民の健康増進に寄与するとともに、市民（患者）に選ばれる病院を目指します。ホームページや広報誌等を通じて市立病院の魅力・特色をわかりやすく迅速に発信します。
医療機関から選ばれる病院へ	⑦	地域連携の機能強化	地域の医療機関から選ばれる病院となるべく、地域医療機関への情報発信とともに交流の機会を設けることで、顔の見える関係を構築していきます。
	⑧	病病連携・病診連携の活用	市立病院に在籍する医師が、短期的・単発的に地域の医療機関で働く機会を活用した集患活動を実施します。 NEW
医療従事者から選ばれる病院へ	⑨	職員満足度の向上	医療従事者から選ばれる病院となるため、職員が満足する環境づくりに努め、職員満足度を向上させることで、人材の定着・確保を図ります。
	⑩	働き方改革の推進	令和6年4月からの医師への時間外労働上限規制に引き続き対応するとともに、全職員が快適に働ける職場環境を整備していきます。

断らない病院へ

項目		内容
⑪	救急体制の強化	両市立病院の救急体制を強化し、救急患者の応需率を上げることを目指します。千葉市の消防ヘリによる、ドクターピックアップ方式での救急活動へ参加するなど、千葉市医療圏でトップクラスの受入を維持・強化していきます。 NEW
⑫	自前搬送の積極的な活用	市立病院が保有する救急車を活用し、入院が必要な他院患者や施設入居者を自前搬送することでスムーズで安全な患者受け入れ体制を整えます。
⑬	地域の病院からの予約体制の整備	地域医療機関からの紹介患者に即時に対応できるよう、予約体制の整備に取り組みます。 NEW

質の高い医療の提供

項目		内容
⑭	高度医療機器及びハイブリッド手術室の整備	高水準の医療を提供できるよう、高度な医療機器や新病院におけるハイブリッド手術室の導入を積極的に行います。また、地域の様々な医療ニーズに応えるため、専門性の高い医療体制を整備します。 NEW
⑮	医療安全の徹底	医療安全の管理を徹底し、市民から信頼される医療の確立を図ります。
⑯	人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）制度の整備	将来的に人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）を推進するために、専門的な知識とスキルの向上を図ります。 NEW

持続可能な医療の提供

項目			内容
収益の確保	⑰	新病院開院に伴う診療体制強化	将来にわたって市民に安心して質の高い医療を提供するため、海浜病院の機能を基盤とした少子超高齢社会に求められる新病院の診療体制強化を行います。 NEW
	⑱	診療報酬以外の収益確保	駐車場料金や有料個室料金を適正に設定するなど、診療報酬以外の収入確保を図ることと、病院事業の経営継続を目指します。 NEW
費用の削減	⑲	競争性を確保した調達の推進	材料や医療機器などの調達業務において、競争性を確保することで費用の削減を目指します。
	⑳	共同購入の検討	薬品費や診療材料費の調達業務において、新たに他の医療機関との共同購入を導入することにより、スケールメリットを生かした価格での購入を検討していきます。 NEW
経営管理体制の強化	㉑	両病院の連携強化	患者受入れや電子カルテシステムなど、様々な分野で両市立病院による連携を強化し、より効率的・合理的な病院経営を目指します。 NEW
	㉒	人事労務改革	収支改善に向けた経営体制強化を図るため、新たな人事評価制度の導入等を検討していきます。 NEW

収支目標

令和10年度までに一般病床稼働率目標(青葉96%、海浜90%)を達成することで、経常収支比率は97.8%まで回復する見込みです。なお、経常収支の黒字化は令和24年度頃を見込んでおります。
本業の実力を示す医業収支比率等については、稼働率目標を達成することで以下の計画としています。

	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (実績)	R7年度 (見込)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)
経常収支比率(%)	112.7	108.1	97.5	95.6	92.3	97.4	97.1	97.8
経常収支(百万円)	2,783	1,813	▲ 584	▲ 1,131	▲ 2,148	▲ 766	▲ 956	▲ 741
医業収支比率(%)	78.7	77.1	76.1	74.1	70.0	80.9	78.1	78.3
医業収支(百万円)	▲ 4,576	▲ 5,040	▲ 5,577	▲ 6,565	▲ 8,241	▲ 5,247	▲ 6,922	▲ 6,893

収支目標を達成するための数値目標

稼働率目標を達成するのに必要な人員配置を行うことで、給与費比率を以下の計画としています。
新病院となる海浜の薬品費・診療材料費比率は、公営企業の実績を参照しています。物価高騰の影響が継続していることから、経費比率は両病院の令和6年度実績を維持することを目標としています。

	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (実績)	R7年度 (見込)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)
給与費対医業収益比率	66.7	68.4	67.8	72.9	79.9	65.8	60.7	60.5
薬品費対医業収益比率	18.6	18.4	19.5	19.2	19.4	17.2	17.4	17.3
診療材料費対医業収益比率	9.4	8.8	9.6	9.8	9.8	9.6	11.0	11.1
経費対医業収益比率	25.2	27.0	25.6	24.7	25.4	24.8	25.1	25.1
委託費対医業収益比率	15.2	16.4	15.8	15.2	16.2	15.4	15.6	15.6

第6期プランの収支目標

＜青葉病院＞ 強みがある分野である内科・整形外科・泌尿器科・外科を中心に専門的治療を提供し、紹介患者の確保を進め、収益増を図ります。

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (見込)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)
入院収益(百万円) (全体)	6,597	6,833	6,909	7,135	7,356	7,628	7,653	7,632
病床稼働率(%) (全体)	76.1	78.3	77.6	77.7	78.2	86.2	91.5	91.6
入院診療単価(円) (全体)	64,333	70,150	71,377	68,194	69,842	69,418	69,421	69,422
新規入院患者数(人) (全体)	7,116	6,744	6,810	7,473	7,687	7,700	7,800	7,800
平均在院日数(日) (全体)	13.5	13.4	13.3	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1
紹介患者数(人)	8,869	9,747	10,036	10,263	10,679	10,700	10,700	10,700
救急搬送件数(件)	3,922	4,366	4,449	4,978	4,600	4,700	4,700	4,700
手術件数(件)	2,837	3,046	3,085	3,282	3,378	3,400	3,400	3,400

＜海浜病院＞ 救急医療の充実、高齢者医療の強化、周産期医療におけるリスクの高い妊産婦や新生児への対応や、小児医療の充実及び外科系診療科の整備を進め、収益増を図ります。

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (見込)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)
入院収益(百万円)	5,562	5,382	5,854	6,449	6,642	8,385	10,271	10,548
病床稼働率(%)	63.8	59.1	67.9	71.7	72.3	80.0	87.4	90.0
入院診療単価(円)	81,564	85,173	80,386	84,080	85,902	89,500	92,000	92,000
新規入院患者数(人)	7,775	7,647	8,477	8,894	9,219	9,700	10,200	10,700
平均在院日数(日)	7.8	7.4	7.7	7.7	8.0	8.0	8.0	8.0
紹介患者数(人)	8,731	8,458	7,827	8,623	9,086	9,500	10,000	10,500
救急搬送件数(件)	4,377	5,617	6,645	6,316	7,000	7,200	7,400	7,600
手術件数(件)	2,396	2,417	2,719	2,842	2,926	3,200	4,000	4,000

第6期プランの収支計画

病院事業全体

(単位:百万円、税込)

区分 \ 年度		R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (実績)	R7年度 (見込)	R8年度 (計画)	R9年度 (計画)	R10年度 (計画)
医業収益・費用	医業収益 (A)	16,929	17,016	17,785	18,807	19,245	22,198	24,655	24,913
	入院収益	12,159	12,215	12,763	13,584	13,998	16,013	17,924	18,180
	外来収益	4,443	4,519	4,756	4,942	4,900	5,573	5,846	5,846
	医業費用 (B)	21,505	22,056	23,362	25,372	27,486	27,445	31,577	31,806
	職員給与費	11,296	11,644	12,065	13,717	15,383	14,615	14,967	15,061
	材料費	4,758	4,646	5,190	5,473	5,650	5,976	7,032	7,093
	経費	4,263	4,595	4,553	4,644	4,879	5,516	6,191	6,254
	減価償却費	1,126	1,102	1,486	1,468	1,505	1,254	3,293	3,303
医業収支 (A)－(B) (C)		▲ 4,576	▲ 5,040	▲ 5,577	▲ 6,565	▲ 8,241	▲ 5,247	▲ 6,922	▲ 6,893
医業外	医業外収益 (D)	7,801	7,312	5,441	5,666	6,355	6,292	7,889	7,973
	他会計負担金・補助金	3,822	4,127	3,605	4,216	4,571	5,054	5,470	5,492
	医業外費用 (E)	442	459	448	232	262	1,811	1,923	1,821
経常収益 (A)+(D) (F)		24,730	24,328	23,226	24,473	25,600	28,490	32,544	32,886
経常費用 (B)+(E) (G)		21,947	22,515	23,810	25,604	27,748	29,256	33,500	33,627
経常収支 (F)－(G) (H)		2,783	1,813	▲ 584	▲ 1,131	▲ 2,148	▲ 766	▲ 956	▲ 741
特別損益	特別利益 (I)	149	25	63	29	45	28	28	28
	特別損失 (J)	183	205	135	156	178	1,726	341	689
	特別損益 (I)－(J) (K)	▲ 34	▲ 180	▲ 72	▲ 127	▲ 133	▲ 1,698	▲ 313	▲ 661
純損益 (H)+(K)		2,749	1,633	▲ 656	▲ 1,258	▲ 2,281	▲ 2,464	▲ 1,269	▲ 1,402
累積欠損金		▲ 4,706	▲ 3,077	▲ 3,719	▲ 4,991	▲ 7,272	▲ 9,736	▲ 11,005	▲ 12,407
医業収支比率 (A) / (B)		78.7%	77.1%	76.1%	74.1%	70.0%	80.9%	78.1%	78.3%
経常収支比率 (F) / (G)		112.7%	108.1%	97.5%	95.6%	92.3%	97.4%	97.1%	97.8%

第5期プランの実績と第6期プランの計画

		R3	R4	R5	R6	R7 (見込)	R8 (計画)	R9 (計画)	R10 (計画)
出資金(基準外繰入金)		-	-	-	-	-	-	-	-
長期借入金	借入	-	-	-	-	-	-	-	-
	償還	-	-	-	-	-	36	36	36
	残高	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,164	1,128	1,092
内部留保資金等残高		3,397	4,813	3,943	2,111	▲879	▲2,836	▲4,141	▲6,184
累積欠損金		▲4,706	▲3,077	▲3,719	▲4,991	▲7,272	▲9,736	▲11,005	▲12,407

※長期借入金 12 億円の借入期間は、平成 29 年度から令和 23 年度

※令和 7 年度以降は、資金調達施策を実施しなかった場合の想定値であり、内部留保資金等残高の不足を穴埋めする形で病院事業債（経営改善推進債）制度等を活用する予定。

※累積欠損金について、令和6年度までは税抜の実績とし、令和7年度以降は見込み及び計画値（税込）を反映。

築40年を経過した海浜病院に代わり、将来にわたって市民に安心して質の高い医療を提供するため、現海浜病院の機能を基盤とした医療機能の強化や集約化により、少子超高齢社会に求められる新病院を整備します。新病院では、海浜病院が市西部地域の急性期病院として担ってきた地域医療を引き続き提供するとともに、がん診療、呼吸器疾患などの高齢者医療や、救急医療を強化します。

<病床数>

病床機能	現病院	新病院	増減	備考
成人・高齢者病床	161床	222床	+61床	高齢者医療対応のため増床
周産期・小児・移行期病床	132床	127床	△ 5床	少子化を考慮しつつも、資源と機能を集約し、引き続き中核施設として整備
計	293床	349床		

< 開院時期>

令和8年秋開院予定

<診療科（全32科）>

内科	脳神経内科	呼吸器内科◎	消化器内科	循環器内科
感染症内科	糖尿病・代謝内科	内分泌内科	小児科	小児科（新生児）
小児外科	外科	消化器外科	乳腺外科	整形外科◎
形成外科	脳神経外科	呼吸器外科★	心臓血管外科	泌尿器科◎
産科	婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	膠原病・リウマチ内科★
リハビリテーション科	放射線治療科◎	放射線診断科	麻酔科	病理診断科
救急科◎	歯科口腔外科★			

★印は新設予定の診療科

◎印は拡充予定の診療科